



2026年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (非連結)

2025年8月4日

上場会社名 日本ラッド株式会社

上場取引所 東

コード番号 4736 URL <https://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 大塚 隆之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営支援本部長

(氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5574-7800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	951	0.8	23	△57.1	83	△29.1	47	△39.4
2025年3月期第1四半期	943	0.7	53	△33.0	118	△10.9	78	△28.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	9.01	—
2025年3月期第1四半期	15.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	4,851	3,396	70.0	642.69
2025年3月期	4,938	3,388	68.6	641.07

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,396百万円 2025年3月期 3,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	△7.0	163	△48.8	224	△42.5	165	△60.5	31.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	5,355,390 株	2025年3月期	5,355,390 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	70,469 株	2025年3月期	69,306 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	5,285,301 株	2025年3月期1Q	5,239,620 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善に伴い個人消費は持ち直しつつあるものの、物価上昇の継続や米国における通商政策の及ぼす影響が今後の景気を下押しするリスクとなっている状況であります。

このような状況の中、当社においては、当事業年度が中期経営計画の第1フェーズの2期目の年度となります。前事業年度においては、IoT・DXにおける統合的なプラットフォーム化構想に向けたプロダクトアセットについて、自社開発を進めた結果、新プラットフォームサービス「Dereva」リリースし、「Konekti」シリーズやCRP&BIツール「Board」「Tagetik」、業務アプリの「Kintone」にERP要素を加味した「Kinterp」などプロダクトを拡充させてまいりました。当事業年度においては、これらをお客様のDX化へのニーズに合わせたソリューション展開を行いながら、引き続き自社製品の開発・販売に注力してまいります。当第1四半期累計期間におきましては、製造分野向けのDXソリューションの販売促進のため、展示会へIoT製品を出展し、新規顧客の開拓に努めてまいりました。また、米国indicio社の次世代型認証ソリューション「Proven Auth（プループン オース）」の国内正規代理店及び技術パートナーとして同製品の提供に至り、プロダクトシナジー型のアライアンスも進めてまいりました。

この結果、当社の当第1四半期累計期間の売上高は、9億51百万円（前年同期比0.8%増）となりました。損益につきましては、営業利益23百万円（前年同期比57.1%減）、経常利益83百万円（前年同期比29.1%減）、四半期純利益47百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「エンタープライズソリューション事業」

各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発案件においては、前事業年度から続いていました大口顧客からの増員要望が落ち着いたことや、開発納期がずれたことにより売上減となりましたが、BI事業におきましては、CCH Tagetikのパートナー開発の受注は安定した成長を見せております。その結果、売上高は5億92百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

「IoTインテグレーション事業」

インダストリアルIoT分野及び医療IoT分野においては、既存顧客及び新規顧客共に受注が増加いたしました。インダストリアルIoTについては、当社オリジナルブランド同士を組み合わせた基幹システムと連携したソリューションのDX事業としての展開が、導入の早さや利便性の高さで引き合い数が増加、既存顧客からの継続受注も増加しております。一方で、医療機関向け自動再来受付システム等の販売・開発につきましては予定していた受注が後ろ倒しになったことにより売上減となりました。エンベデッド事業におきましては、自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入や船舶搭載用ソリューションは引き続き順調な売上となりました。また、映像情報システム関連については、商材の拡充により売上は前期よりやや伸びました。その結果、売上高は3億58百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は33億68百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億59百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が4億84百万円減少したことによるものです。固定資産は14億83百万円となり、前事業年度末に比べ11百万円増加となりました。これは主に無形固定資産が7百万円、投資有価証券が16百万円増加しましたが、有形固定資産が4百万円、投資その他の資産のその他が11百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は48億51百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は7億74百万円となり、前事業年度末に比べ1億5百万円減少いたしました。これは主に買掛金が1億40百万円、賞与引当金が1億14百万円、未払法人税等が74百万円減少しましたが、流動負債のその他が2億29百万円増加したことによるものです。固定負債は6億80百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは退職給付引当金が10百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は14億54百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は33億96百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に有価証券評価差額金が13百万円増加しましたが、四半期純利益の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金が5百万円減少したことによるものであります。また、自己資本比率は70.0%（前事業年度末は68.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して3億59百万円増加し、25億44百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、4億36百万円（前年同期比103.5%増）となりました。これは主に税引前四半期純利益83百万円、売上債権及び契約資産の減少による収入4億84百万円、未払費用の増加による収入2億20百万円、仕入債務の減少による支出1億40百万円、賞与引当金の減少による支出1億14百万円、法人税等の支払額89百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用された資金は、28百万円（前年同期比30.5%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7百万円及び無形固定資産取得による支出19百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用された資金は、48百万円（前年同期比131.0%増）となりました。これは配当金の支払いによる支出47百万円によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2025年5月12日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184,676	2,544,654
受取手形、売掛金及び契約資産	1,113,428	628,652
製品	1,887	3,995
仕掛品	6,710	17,551
原材料	62,474	65,087
その他	98,102	108,285
流動資産合計	3,467,279	3,368,227
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	201,402	197,409
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	58,116	57,976
有形固定資産合計	259,519	255,386
無形固定資産		
ソフトウェア	99,390	87,730
その他	12,055	31,390
無形固定資産合計	111,446	119,120
投資その他の資産		
投資有価証券	483,427	500,415
長期預金	200,000	200,000
その他	521,296	509,444
貸倒引当金	△104,033	△101,208
投資その他の資産合計	1,100,689	1,108,650
固定資産合計	1,471,655	1,483,157
資産合計	4,938,934	4,851,384
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,426	105,166
未払法人税等	107,972	33,704
賞与引当金	205,322	90,929
役員賞与引当金	6,003	—
その他	315,119	544,960
流動負債合計	879,844	774,761
固定負債		
退職給付引当金	605,825	616,126
資産除去債務	59,711	59,358
長期未払金	3,588	3,588
その他	1,194	958
固定負債合計	670,319	680,031
負債合計	1,550,164	1,454,792

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,480	1,239,480
資本剰余金	994,398	994,398
利益剰余金	1,108,734	1,103,480
自己株式	△31,725	△31,763
株主資本合計	3,310,887	3,305,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	77,882	90,996
評価・換算差額等合計	77,882	90,996
純資産合計	3,388,770	3,396,592
負債純資産合計	4,938,934	4,851,384

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	943,261	951,007
売上原価	699,565	745,737
売上総利益	243,696	205,270
販売費及び一般管理費	189,890	182,188
営業利益	53,806	23,081
営業外収益		
受取利息	626	1,853
受取配当金	62,928	58,623
その他	984	919
営業外収益合計	64,539	61,396
営業外費用		
支払利息	16	11
為替差損	73	277
株式報酬費用消滅損	—	288
営業外費用合計	90	576
経常利益	118,255	83,900
特別損失		
固定資産除却損	0	132
特別損失合計	0	132
税引前四半期純利益	118,255	83,767
法人税等	39,644	36,160
四半期純利益	78,610	47,606

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	118,255	83,767
減価償却費	13,715	20,142
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,022	—
株式報酬費用	3,284	4,732
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,747	10,301
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83,141	△114,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△114	△60
受取利息及び受取配当金	△63,555	△60,476
支払利息	16	11
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	0	132
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	161,941	484,776
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,162	△15,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	△54,413	△140,019
未払費用の増減額 (△は減少)	154,205	220,196
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△6,003
その他	△63,849	△20,839
小計	200,232	466,706
利息及び配当金の受取額	63,082	59,502
利息の支払額	△16	△11
法人税等の支払額	△48,868	△89,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,430	436,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,161	△7,470
無形固定資産の取得による支出	△8,408	△19,334
貸付けによる支出	△1,200	△1,200
貸付金の回収による収入	764	786
その他	△650	△1,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,655	△28,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△226	△231
自己株式の取得による支出	—	△37
配当金の支払額	△20,605	△47,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,832	△48,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	171,943	359,978
現金及び現金同等物の期首残高	2,254,879	2,184,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,426,822	2,544,654

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソリューション事業	IoTインテグレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	598,914	344,347	943,261	—	943,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,539	—	1,539	△1,539	—
計	600,454	344,347	944,801	△1,539	943,261
セグメント利益	110,664	57,204	167,869	△114,063	53,806

(注) 1. セグメント利益の調整額△114,063千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソリューション事業	IoTインテグレーション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	592,029	358,978	951,007	—	951,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,340	—	3,340	△3,340	—
計	595,370	358,978	954,348	△3,340	951,007
セグメント利益	88,392	59,067	147,459	△124,377	23,081

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,377千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。